

Smile

大阪市立築港中学校
第3学年学年通信
第1号
2018.4.13

どんな中学校生活になるのか、どきどきしながら入学式を迎えた4月から早2年、中学校生活も3分の2が過ぎ、ゴール（卒業）が近づいています。

3年生になって一念発起、勉強を頑張ろうという人が多いと思います。中学校を卒業すると義務教育が終わります。そうするとみなさんは卒業後の「進路」を確定しなくてはいけません。就職であろうと、進学であろうと、半年後には具体的な進路先を決めなくてはいけないので。限られた時間を大事に使い、後悔しない進路決定をしてほしいと思います。

希望進路先が決まつても、希望先に行くには試験があります。勉強はしっかりとできていますか？来月には中間テストが控えています。また6月にはチャレンジテスト、期末テストとテストが続きます。結果を出すには日頃の学習が必要です。しっかりと頑張りましょう。



★私立高校と公立高校

(1) 私立高校

各学校独自の教育方針があります。併設大学があるところもあります。男子校、女子校もあります。共学の学校であっても、科やコースによって女子（男子）のみであったりするので注意が必要です。

公立高校に比べると設備が良いところが多い半面、学費が多くかかります。

(2) 公立高校

大きく分けると、普通科、専門学科と総合学科に分けることができます。全ての高校が共学校です。



A : 普通科

中学校の学習を基礎として、より詳しく学習を進めています。時間割も中学校のものと似たものといえます。多くの学校では、2年、3年になると多様なコース（理系、文系など）を設定し、選択できるようになります。

B : 専門学科

工業や商業などたくさんの学科があります。自分の興味や、将来につきたい仕事に適したところをしっかりと考えるようにしましょう。最近は大学進学への道もかなり開かれています。

C : 総合学科

100以上の科目（講座）から自分の興味、将来につきたい仕事に適した教科を選択できる、つまり大学のように時間割を自分である程度組み立てることが可能です。学校によって特色がありますので、自分が何をしたいのか考えて選びましょう。

★受験について

(1) 私立高校：どこでも受験する事が可能ですが。大阪府内の私立高校は1校のみ受験が可能です。受験するときに専願か併願かを決めなくてはいけません。

大阪府内の私立高校の受験日は2月9日（土）10日（日）です。

※専願と併願

専願：合格すると必ずその学校に行くと約束をして受験する方法です。合格したら公立高校を受験することはできません。併願よりも受験で有利になる学校が多いです。

併願：合格しても、公立高校の結果まで入学手続きを待ってもらいます。公立高校を合格した場合、私立高校に行かなくても問題はありません。

(2) 公立高校：大阪府内の高校のみ受験することができます。受験時期は2月中旬以降（私立高校の受験の後）です。私立高校を受験している、していないは、合否の結果には関係ありません。公立高校のみ受験することを単願といいます。

28年度入試（今の高校3年生）より、大阪府の公立高校の受験システムが大きく変更していますのでそれを知ってほしいと思います。

詳しい内容は来月に学習します。



★入試について

当日の合否判定は以下の通り行われます。

(1) 私立高校

高校ごとに基準が違います。試験科目も3教科のところもあれば、5教科のところもあります。受験の仕方（専願か併願か）で合格の可能性が変わることが多いです。

(2) 公立高校

中学校での成績（評定）と当日の試験の得点をたして、合否を判定します。当日の受験科目は、5教科（国語、社会、数学、理科、英語）を予定していますが、中学校での成績（評定）は9教科全てが、判定に使われます。

つまり、入試を受ける前から合格が近い人と、遠い人が中学校の成績で決まってしまうということです。また、受験科目ではない4教科（音楽、美術、技術家庭、保健体育）も大切です。日頃から1時間1時間の授業を大切にしましょう。



★進路希望先を調べよう

卒業後の進路を確定させるためには、まず希望進路先を調べなければいけません。先輩やおうちの人から話を聞いたり、クラスの後ろに置いてあるパンフレットや、インターネットを使って、進路希望先を調べることが必要です。ただ「百聞は一見にしかず」。いろいろな話や資料を聞いたり見たりするだけでなく、実際にその希望先に行って、体験することが一番です。各学校では、中学3年生のために、「体験入学」というものを実施しています。学校の説明だけの学校もあれば、実際に授業を体験させてくれたり、クラブを体験させてくれる高校もあります。以下の注意事項をしっかりと守り、体験入学に参加しましょう！